

会員企業の紹介

日本パーカライジングは昭和2年創業で、金属表面処理薬剤・粉体塗装機・板状熱交換器の製造・販売や表面処理の外注加工を行っております。一般的にはなじみがないと思いますが、生活に密着した製品を陰で支えており、一例としては自動車の車体を錆から守る表面処理剤があり、日本で作られる車の2/3は当社の薬剤で処理されております。

その西日本の拠点である関西事業部は、江坂駅南の新御堂筋沿いの西側に昭和45年に移ってきました。現在では、同じ建屋に、設備の設計・製造・販売を行うパーカーエンジニアリング株式会社、熱処理薬剤・設

備の設計・製造・販売を行うパーカー熱処理工業株式会社、防錆油の製造・販売を行うパーカー興産株式会社が同居し、50名弱が働いております。敷地の半分が駐車場で建屋も3階建てと、非常に土地を優雅に使用していることでもおなじみかと思えます。

日本パーカライジング株式会社 関西事業部

〒564-0052 大阪府吹田市広芝町11番41号
TEL:06-6386-3111(代表)
FAX:06-6389-4962
<http://www.parker.co.jp>



非常用備蓄物資搬送訓練に参加

地域防災委員会 委員長 渋谷 清明

1/20(金)大阪府主催の「災害時物資の移送訓練」に参加しました。

これは紀伊半島地域での大災害発生を想定し、北部防災備蓄拠点から和歌山方面への災害時非常用物資が民間などの協力を得て、道路、川、海をスムーズに搬送できるかどうかの検証を図ることを目的とするものでした

当日は、小雨まじりの寒い天候でしたが会員企業から18社(29人)の参加を得て、万博公園内にある北部防災拠点で備蓄品をトラックに積み込み、それを神崎川の榎木橋付近にある防災船着場でトラックから船に積替える体験をしました。他にも吹田市西消防署員から消火器訓練とAED取

扱いについての講習も受けました。又神崎河畔企業連絡会会長のマロニー(株)の参加協力で名物のマロニー鍋も振舞われ、備蓄品の五目御飯と共に寒い中ホットする一時もありました。自分達が被災者になったとき美味しく食べる事のできる非常食の必要性も感じました。

